

海外安全対策情報（平成26年度第3四半期）

1 社会・治安情勢

（1）インドネシア新政権の発足

10月20日、ジョコ・ウィドド新大統領の就任式等が行われたほか、同月26日、閣僚名簿の発表（翌27日閣僚就任式）など、重要な政治的動きがありました。これらに関し、当地では治安上の大きな問題は発生しませんでした。

また、新政権は、11月18日に補助金付きの燃料の値上げ（補助金削減）を実施しましたが、当地では大きなデモ等はありませんでした。

（2）テロ関連動向

当地においては、テロに関する事案は発生しておりませんが、治安当局は、具体的なテロ情報は認められないとしつつも、例年、クリスマス及び年末年始はテロの脅威が高まる時期として、各種の警戒を強化しました。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪傾向

観光地を中心に、外国人旅行者を狙ったと見られる「ひったくり」「スリ」「車上狙い」といった盗難被害が引き続き数多く発生しています。

特に、年末年始の深夜・早朝時間帯には、観光客が多く集まるクタ・レギャン地区において、ナイトクラブや路上でひったくり等の盗難被害が多数発生しました。

（2）邦人被害事案

邦人の事件・事故について当館へ報告された事案は以下のとおりです。特に、年末年始の深夜・早朝時間帯には、クタ・レギャン地区において、犯人が複数人の集団で被害者グループを取り囲み、被害者の注意をそらして貴重品を抜き盗ったり、集団の威力を用いて無理矢理に鞆をひったくるといった強盗まがいの被害も発生しました。

- ① 10月12日夜、クタ地区で、マッサージと称して路地裏で体を触られて財布を抜き盗られました。
- ② 10月14日夜、クタ地区で、マッサージ店付近に駐車中の車の窓ガラスが割られ、車内の置いてあった鞆（現金等）が盗られました。
- ③ 10月20日朝、クタ地区で、サーフィン中に駐車中のオートバイ座席下から携帯電話が盗られました。
- ④ 12月中及び年末年始にかけて、ひったくりやスリに遭う被害が多数発生しました（当館に報告があっただけで『計7件』）。なお、上記のとおり、犯人が集団で被害者を取り囲んでの事案や、オートバイ運転中にひったくりに遭って被害者が転倒して負傷する事案も発生しました。

(3) 邦人以外の被害事例

外国人に関する主な被害は次のとおりです。

- ① 10月20日、サヌール地区在住の英国人男性が、集団で暴行されて殺害される事件が発生しました。なお、複数の犯人が逮捕され、事件の背後には同男性のインドネシア人妻が絡み、犯人達は殺人を請け負ったものとされています。
- ② 犯罪被害ではありませんが、11月4日、ウブド近郊のアユン川でラフティングを行っていたインド人グループが岩にぶつかった拍子で川に投げ出されて1名が死亡、また、11月30日、カランアッサム県の海岸付近でダイビングをしていたマレーシア人グループのうち1名が死亡し、外国人観光客のレジャー中の死亡事故が2件発生しました。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロに関連した事件は発生していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件は発生していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は発生していません。

以上